

学びと誇りが実感できるまち

～スポーツを通して

努力する大切さを学ぶ！～

令和3年5月号

庄原市教育委員会
教育部生涯学習課



夏立ちぬいつもそよげる樹の若葉 (日野草城)

コロナ禍にあっても、子供たちがグラウンドに飛び出し、友達と一緒に遊んでいる姿をみると元気になる気持ちが湧いてきます。本年度も陸上教室など7種目のレベルアップスポーツ教室を開催する予定です。体を動かすことや多くの人が集まって活動するには、まだまだ制約がありますが、工夫を加えてできる内容・機会を考え、子供たちが「やってよかった」と思えるよう努力します。

さて、今回は、先月のスポーツ界のビッグニュースから学ぶことです。

それは、池江璃花子選手が水泳種目において東京オリンピックの出場を決めたことと松山英樹選手が男子ゴルフ、マスターズ・トーナメントを制覇したことです。

池江選手は、闘病生活を乗り越えレースに復帰。以来、努力に努力を重ね、先月開催された日本選手権では4冠を達成し、リレーの2種目で東京オリンピック代表に内定しました。

池江選手の言葉をいくつか紹介します。「私はあきらめない」「心が折れそうな時もあります。ですが、たくさんの言葉に励まされ最後まで頑張りたい、負けたくないという気持ちが込みあげてきます」「失敗は練習でしかできない」「本当に頑張ってきてよかった。苦しくてもしんどくても努力は必ず報われる」など。これらの言葉には、私たちの生活を振り返り、考えさせられる中身がたくさんあります。

また、松山選手が、日本人として悲願の初優勝した後のインタビューで「僕もまだまだ頑張るので、テレビを見ている子供たちと5年後、10年後にこの舞台で争えたら幸せ。メジャーめざしてがんばってもらいたいと思っています。」と応えておられるのが大変印象的でした。この言葉を聞いた子供たちはどれだけ勇気づけられ、どれだけ夢が広がっただろうと思いました。

現在、教育委員会では「第2期スポーツ推進計画(後期計画)」を策定しています。

スポーツは、人生をより豊かにするとともに、人間の身体的・精神的な欲求にこたえる世界共通の文化の一つです。また、明るく豊かで活力に満ちた社会の形成や個々人の心身の健全な発達に必要なものであり、人々が生涯にわたってスポーツに親しむことは、極めて大きな意義を有しています。

スポーツを「実践する、観戦する、支援・協力する」など、子供たちをはじめ市民の皆さんがもっともっと主体的に活動できるよう、また「生涯スポーツ社会の実現」に向けて着実に前進できるよう計画を練っていきます。